

学年	高校2年	教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	5
教科書名	詳説 日本史 (山川出版社)			副教材名	新詳日本史 (浜島書店) 詳説日本史スタンダードテスト (山川出版社) 日本史用語集 改訂版 (山川出版社) 詳録新日本史史料集成 (第一学習社)		
コース・クラス	中高一貫文系						

I. 目標

1. 列島内の人々の歩みを学ぶだけでなく、我が国と諸外国や諸地域との関係を基本的な枠組みの中で理解する。数多くの事象を題材に用いて歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
2. 「現代的な諸課題の形成に関わる歴史の大きな変化」の理解を目標とする。現在の諸問題はなぜ生まれたのか、その道筋の時間的・空間的（地理的）な要素を意識し、それらを多面的に関連づけて理解することで、現代に生きる私たちの社会の在り方や直面する課題について思考する力を養う。
3. 3年次の基礎学力到達度テストだけでなく、大学入学共通テスト・一般受験にも挑戦できる学力を目指し、発展的な内容にも対応できる力の素地を養う。

II. 授業のねらい

1. 講義型の授業に加え、アクティブラーニング型授業も適宜取り入れることで多面的・多角的な理解を図る。
2. 自ら問いを立てることを通じて、積極的に情報収集をする姿勢や、他教科・他科目で習得した知識や技能を相補的に用いて、出来事や人物などの相互関係性を見極める総合的な考察力・思考力を高める。

III. 授業の進め方

1. 歴史上の出来事における因果関係とその影響の解説にとどまらず、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」、見通しを持って粘り強く自己の学習活動になげる「主体的な学び」を重視する。
2. 授業内で提示する様々な資料（史料）をもとに、生徒自身が「比較・関連づけの問い」を立て、複数の歴史的事象の関連性やその影響などを多面的・多角的に考え、自分自身の考えを表現する活動を重視する。

IV. 学習上の留意点

1. 歴史的事象において、時間軸を使う「歴史的な見方・考え方」と、空間軸を使う「地理的な見方・考え方」を相互補完的に応用することで、様々な視点で歴史的事象を考える。
2. 用語の暗記に偏ることなく、「なぜそうなったのだろうか？」という問題意識を常に持ちながら、因果関係を比較・整理し、各種資料・史料を読み取る力を養う。

V. 定期試験

- | | | | |
|-----|-------|---|-----------------------|
| 1学期 | 中間試験 | : | 文化の始まり ～ 古墳文化の展開 |
| 1学期 | 期末試験 | : | 飛鳥の朝廷 ～ 律令国家の変容 |
| 2学期 | 中間試験 | : | 摂関政治 ～ 院政と平氏政権 |
| 2学期 | 期末試験 | : | 鎌倉幕府の成立 ～ 室町幕府の成立 |
| 3学期 | 学年末試験 | : | 幕府の衰退と庶民の台頭 ～ 幕藩体制の成立 |

VI. 評価の方法

各学期の定期試験、小テスト、提出物（課題）などの総合評価

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	学習内容
一学期	4	第1章 日本文化のあけぼの 文化の始まり 農耕社会の成立	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・旧石器・縄文・弥生それぞれの時代の遺跡・道具を図表などで確認し、時代の特徴を明確にする。 ・原始社会が農耕の開始をきっかけに大きく変化し、やがて国家形成へと進んでいく過程を理解する。 ・中国史書における日本に関する各種史料を読み解き、当時の日本の様子を理解する。 ・ヤマト政権と東アジアとの関わりを理解する。古墳時代の変遷をヤマト政権の成立と結びつけ理解する。 ・律令体制の基本構造を把握し、古代日本が目指した国家の在り方を考える。 ・律令体制がなぜ行き詰まったのかを考える。また、日本的律令体制を実現するための政治改革を理解する。
	5	第2章 古墳とヤマト政権 古墳文化の展開 飛鳥の朝廷	提出物 中間試験	
	6	第3章 律令国家の形成 律令国家への道 平城京の時代	小テスト 提出物	
	7	律令国家の文化 律令国家の変容	期末試験	
二学期	9	第4章 貴族政治の展開 摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士	小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・天皇家と藤原氏との関わり、藤原北家が摂関政治を確立するまでの過程を理解する。また、関係する各種史料を読み解き、貴族政治の特徴を考える。 ・武士誕生のきっかけを摂関政治の展開とともに理解する。 ・律令支配と院政の違いを比較しながら院政期の政治の特徴を理解する。また移り変わる在地支配への理解を深める。 ・承久の乱により公武の力関係が変化し、本格的な武家政権の始まったことを理解する。 ・元寇を境に鎌倉幕府が衰えた過程とその原因を理解する。また、建武の新政がなぜ短期間で崩壊したのかを考える。 ・公家文化に武家文化と宋・元の文化が影響を与え、鎌倉文化を成立したことを理解する。また、この背景には、政治・経済の変化があったことに着目して考察する。 ・室町幕府の仕組み、足利将軍家と諸大名との関係を理解する。南北朝の動乱が長期化した原因を理解し、武家社会の変容を考える。
	10	第5章 院政と武士の躍進 院政のはじまり 院政と平氏政権	小テスト 中間試験	
	11	第6章 武家政権の成立 鎌倉幕府の成立 武士の社会 モンゴル襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	小テスト 提出物 小テスト	
	12	第7章 武家社会の成長 室町幕府の成立	期末試験	
三学期	1	幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・惣村の形成と一揆の頻発、応仁の乱による戦国時代の始まりを俯瞰し、共通点から時代の特徴を考える。 ・織豊政権の統一過程、特色、意義を理解する。また、西洋と日本が接近した理由を世界史的な視点で考える。 ・太閤検地によって荘園制が解体されたことを背景に踏まえ、幕藩体制の形成について理解を深めていく。 ・関ヶ原の戦いから大坂の役にかけて、徳川家康が幕府を開き、全国支配を実現した過程を理解する。 ・3代家光のころまでに、将軍と大名が土地と人民を統治する支配体制が成立した過程を理解する。
	2	第8章 近世の幕開け 織豊政権 桃山文化	提出物 小テスト	
	3	第9章 幕藩体制の成立と展開 幕藩体制の成立	学年末試験	

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。